

2010 年初冬

『アトレ秋葉原 1』OPEN！

ビジネス、カルチャー、国際色豊かな人々が
集う街秋葉原に、新たなランドマークが誕生

毎日の生活の中でふと立ち寄りたくなる、身近にあるホッとできる空間
『寄り道 “CROSS TERMINAL”～新・秋葉原エリアのクッションゲート～』を
コンセプトに食料品、デザイン雑貨、カフェなどこだわりのショップが勢ぞろい。

JR東日本グループで駅ビル「アトレ」を運営する、株式会社アトレ(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:小暮 和之)は、JR秋葉原駅電気街口に「アトレ秋葉原¹」を 2010 年初冬にオープンします。

現在アトレは、恵比寿、吉祥寺、品川等で営業しており、「アトレ」ブランドの駅ビルとしては今回の秋葉原で 11 店目となります。

「アトレ秋葉原 1」は「寄り道 “CROSS TERMINAL”～新・秋葉原エリアのクッションゲート～」をコンセプトに、上質な日常生活を支援する全 46 ショップ(予定)の駅ビルとして、秋葉原エリアの新しいランドマークを目指します。

なお、秋葉原駅昭和通り口にて営業中のアトレヴィ秋葉原につきましては、「アトレ秋葉原 1」の開業にあわせて「アトレ秋葉原²」に名称を変更いたします。



「アトレ秋葉原 1」北側外観 完成予想パース ※あくまでもイメージのため、実際の仕様とは異なります。

■ コンセプト

『 寄り道 “CROSS TERMINAL” ～新・秋葉原エリアのクッションゲート～ 』

街、駅からひととき離れ、気持ちを緩めて自分をリセット。

寄り道しながら、好奇心を満たしたり、

友人への手土産を探したり、待ち合わせを楽しんだり、

これまで通過してきた私たちがクロスし、集う場所。

ひととき、身を委ねて元気を取り戻す

私にとってクッションのような場所。

■ 環境デザインコンセプト

『 Organic Line ～道行く人が自然と導かれるデザイン～ 』

スピード感のある街の中で行き交う人がふと立ち寄りたくなる心地よさ

店内をゆったりと歩く楽しさを感じられる環境づくりを目指します。

各フロアごとにテーマを設け、自然の意匠を取り入れた現代的なデザインや、
かつての街の記憶、面影をさりげなく取り入れたデザインで街との融合を図ります。

■ 施設概要

施設名:	アトレ秋葉原 1
所在地:	〒101-0021 東京都千代田区外神田 1 丁目 17(以下未定)
営業時間:	AM10:00～PM9:00 ※上記はコアタイムのため、店舗により営業時間が異なります。
構造:	鉄骨造
規模:	北棟 地上 4 階、高架下 地上 3 階、南棟 地上 7 階 延床面積 約 8,400 m ² 店舗面積 約 3,500 m ²
店舗構成:	全 46 ショップ (予定)
開業日:	2010 年初冬
売上想定:	約 50 億円 (年間)

■ 運営会社概要

名称:	株式会社 アトレ
所在地:	東京都渋谷区恵比寿 4-1-18 恵比寿ネオナート 6F
会社設立:	1990 年 4 月 2 日
資本金:	16 億 3 千万円
代表者:	小暮 和之
事業内容:	駅ビルの管理および運営等
運営施設:	アトレ恵比寿、アトレヴィ五反田、アトレ吉祥寺 他

■ 参考情報

タウンストーリー

”秋葉原“の由来

江戸時代「火事とケンカは江戸の華」と言われたように、当時は秋葉原界隈も火事が多く、日ごろから火災に悩まされていました。1869年(明治2年)の大火をきっかけに、明治天皇の勅命によって静岡県浜松市の秋葉山から秋葉大権現を勧請し、鎮火神社を現今の秋葉原駅構内の土地に創建しました。その後すぐに鎮火神社が秋葉神社と改められると、神社周辺の土地を「秋葉原(あきはばら、あきばっばら)」と呼ぶようになります。1888年(明治21年)境内地に新しく駅を開設するため、秋葉神社が現在の台東区に移転。1890年(明治23年)に上野から鉄道が延長されて、駅名が「秋葉原(あきはばら)」と名付けられたため、その名前が一般化して全国的に「あきはばら」という読み方が定着していきました。

再開発で生まれ変わる”秋葉原“

2000年代初頭、秋葉原駅周辺で土地区画整理事業による開発が進み、大規模なオフィスビル、集合住宅などが竣工するなど、街並みが大きく変わってきています。秋葉原は世界に誇る「電気街」としての大きな魅力に加え、駅周辺の開発で世界的なIT産業拠点として進化する「IT都市」、つくばエクスプレスの開通によってつくば学園都市との連携が期待される「産学連携都市」、そしてアニメやサブカルチャーなどの「情報発信地」として国内外から多く注目されています。ビジネス、買い物、そして観光など様々なシーンで秋葉原を訪れる人は年々増加しています。

■ 秋葉原駅データ

- ・ 一日平均乗降人員／JR 秋葉原駅 約44万9千人(2009年度実績)
- ・ 乗り入れ・接続／総武・中央線(各駅停車)、山手線、京浜東北線、地下鉄日比谷線、つくばエクスプレス
- ・ 秋葉原全体の再開発や、つくばエクスプレスの開業により秋葉原駅の乗車人員が2005年から急激に伸びてきている。平日は通勤・通学の利用客がほとんどだが、休日は買い物やエンターテインメントを目的とした利用客が多いことが特徴。

【PRに関するお問合せ先】

株式会社フルハウス
担当：秋元、白江井
s.akimoto@fullhouse.jp
TEL:03-5413-0384
FAX:03-3401-8085
〒107-8617 港区北青山1-3-6 SIビル5F

【アトレに関するお問合せ先】

株式会社アトレ
広報室 担当：田中
k-tanaka@atre.co.jp
TEL:03-5475-8520
FAX:03-5475-8517
〒150-0013 渋谷区恵比寿4-1-18 恵比寿ネオナート6F

※パース、ロゴデータはjpg画像でご用意がございます。